



「静岡の家具」とモノづくりの未来に向けて ～「しずおかプロダクツ フォーラム」の創設～

経済産業部商工業局



静岡県の地場産業

120の多様な業種が集積



県内木製家具を取り巻く状況

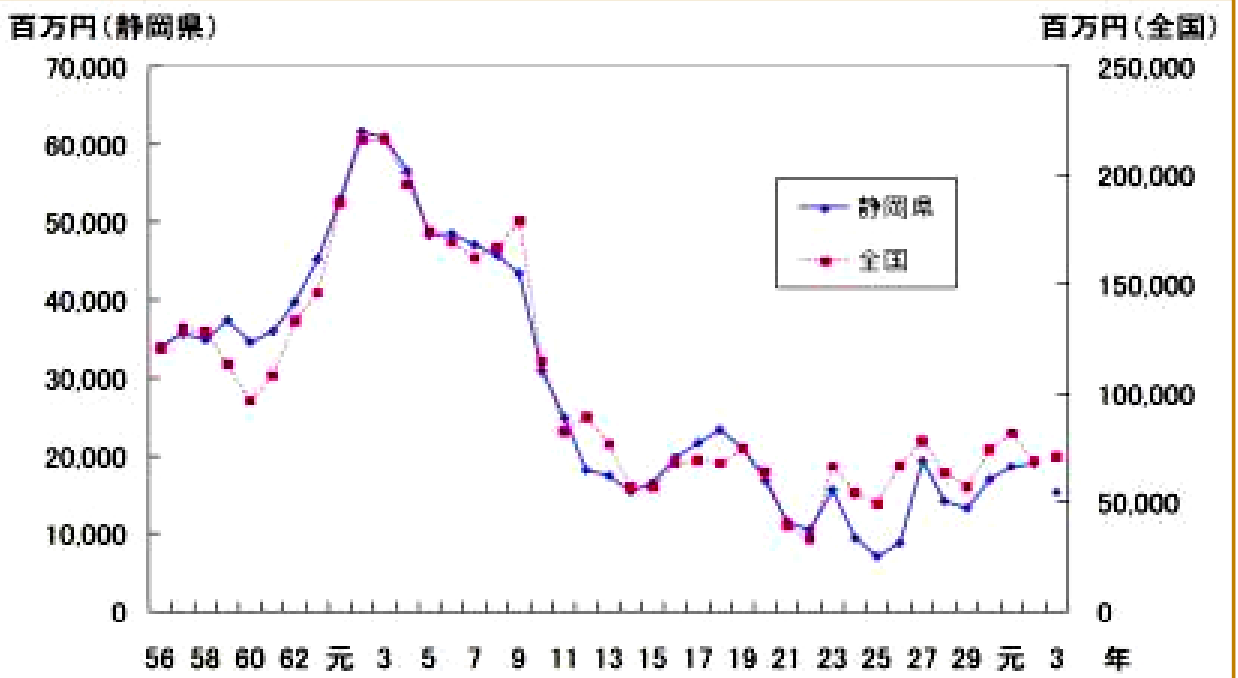
木製家具
出荷額等

486.8億円

(出典：経済産業省「経済構造実態調査製造業事業所調査「地域別」」全事業所(R3))

全国第5位 (全国シェア5.9%)

木製家具
出荷額等
の推移



出典：経済産業省「工業統計表（地域別統計表）」従業者4人以上の事業所（S62～H22、H24～H26、H28～R元）
 経済産業省「経済センサス-活動調査産業別集計（製造業）」「地域編」従業者4人以上の事業所（H23、H27、R2）
 経済産業省「経済構造実態調査製造業事業所調査「地域別」」全事業所R3)

「静岡の家具」変遷と特徴

江戸時代初期～
静岡家具の原型となる
技術者が集結
久能山東照宮等の造営

1900年代半ば～1990年頃
市場成長
ライフスタイル変化に合わせた
先駆的な家具を市場に供給

1990年頃～現在
市場成熟・低迷
・作り手の大幅な減少
・中価格帯国産家具の低迷



江戸時代
竹製品、漆器等



この頃、浅間神社の宮
大工を祖先に持つ職
人が建設中の**静岡県**
庁に家具・什器を納品



明治中期
漆塗りの
西洋鏡台

昭和30年以降
サイドボード、ドレッサー



大正中期
茶箆筒

昭和20年以降
婚礼家具≒箱物家具
(タンス、食器棚等)



令和6年6月
シズオカ[KAGU]
メッセ70回記念大会

産地として
の礎を確立

社会的分業
体制の誕生

全国有数の
総合家具産地へ成長

「静岡の家具」振興方針

県内地場産業の強み

- 1 伝統技能/無形知識が継承されてきた歴史（一流の木工職人を起源とする匠の技術）
- 2 あらゆる産業が集積している裾野の広さ（域内連携で新たな価値を創造する先進性）
- 3 高度に発達した分業体制（あらゆるオーダーに応えられる技術・資源が結集した総合力）

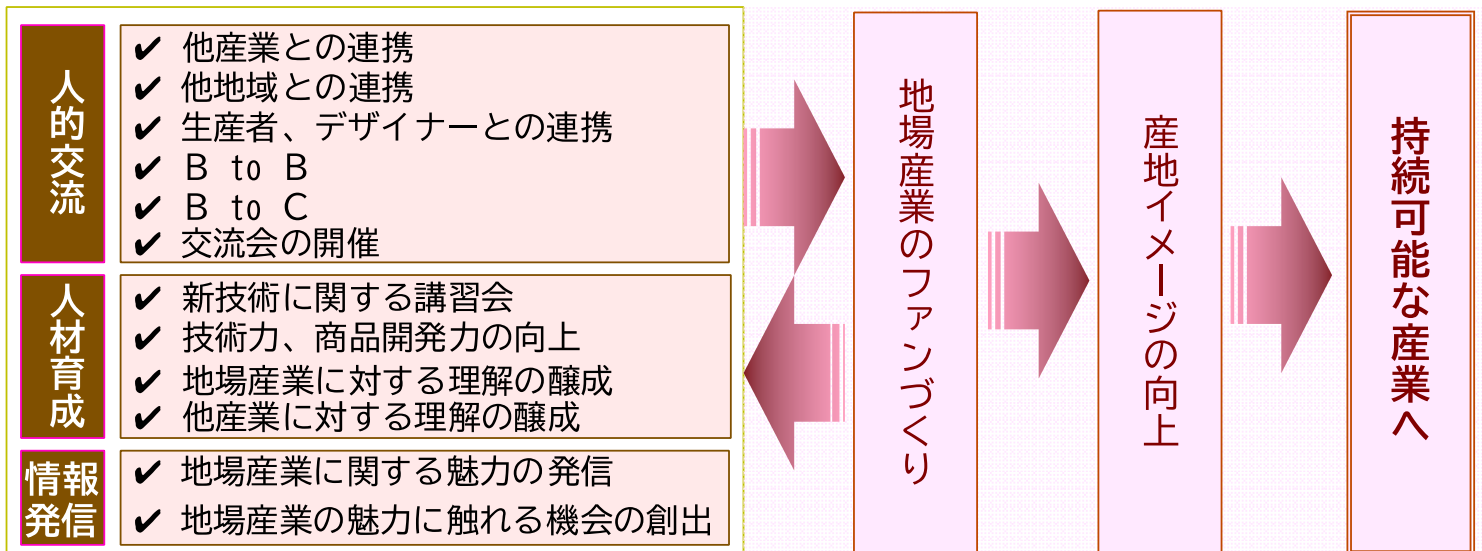
振興の方向性

- ✓ 培われてきた技術力を活かしつつ、サプライチェーンを最適化
- ✓ 技術的強みを生かし、イノベーションを推進
- ✓ 既存の枠組みにとらわれずに、国内外に新たな販路を開拓
- ✓ 他産業との連携で新しい価値を創造し、地域循環経済の仕組みを構築
- ✓ 「静岡の家具」の魅力を発信し、産地を支える人材を育成・確保

「しずおかプロダクツ フォーラム」の創設 産業の垣根を越えた連携による持続可能な産業モデルの構築

4

「しずおかプロダクツ フォーラム」構成と展開



～家具とモノづくり～ しずおかプロダクツフォーラム キックオフセミナー



(講師) 根津 孝太氏

日 時：令和6年3月21日（木）午後2時～午後6時30分

場 所：浮月楼

第1部 基調講演

静岡から世界へ！「モノづくりの未来」 講師 根津孝太氏

第2部 クロストーク

デザインは愛だ！「デザイナーと考える静岡の家具とモノづくり」
ここだけトーク

第3部 交流会



(ファシリテーター)

甲賀 雅章氏 / NPO 法人 Be Creative 理事長
CCC (静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター) コーディネーター
Innovative Commons「創造の広場」主宰
シティプロモーション研究所 チーフディレクター、クリエイター



甲賀 雅章氏



川田 学氏



大木 真実氏



平森 詩乃氏



日原 佐知夫氏

(パネラー)

根津 孝太氏 / 有限会社 zrug design 取締役、クリエイティブコミュニケーター、デザイナー
川田 学氏 / ヤマハ株式会社 デザイン研究所 所長、デザイナー
大木 真実氏 / NUMAZU DESIGN CENTER 代表、アートディレクター、グラフィックデザイナー
平森 詩乃氏 / 株式会社 堀川民明堂、企画部チームリーダー
日原 佐知夫氏 / 創造堂氏 代表、デザイナー、Shizuoka Products Forum プロデューサー



江戸時代から続く職人の伝統を受け継ぐ
本県の地場産業が、新たな価値を創造し、
持続可能な社会の実現に貢献します。